

男女共同参画の視点からの防災

事例集

【取組の概要】

・高知県安芸市の自主防災組織である川向防災会では、**子育てや介護などで忙しい女性も含めて、住民が活動に無理なく参加できる仕組みづくりを実施。**

【取組のポイント】

役員に女性枠を設置

- ・会長1名 副会長(男女各1名)：会長の任期は最長2年
班長1名 副班長(男女各1名)：班長、副班長は原則として名簿順。
という体制にし、名簿順にすることで、**男女問わず誰でも役員になる**ような仕組みに。
また、役員の数自体を増やすことにより、女性が役員になりやすい仕組みを構築。
- ・名簿は、もともと世帯主(男性)を記載していたが、徐々に個人単位での記載に変更。
⇒**これらは規約に明記し、組織全体の明確なルールに。**

短時間でだれでも参加しやすい会議

- ・子育てや介護などで忙しい女性も含めて、無理なく参加できるよう、**会議の時間は短時間に限定し、参加しやすい時間帯に開催。**

性別での役割分担をしない

- ・災害時はどんなメンバーで活動するかわからないため、防災訓練の際、原則として**役割を男女で分けず(炊き出し班=女性など)、事務局がランダムで役割を割り当て。**

平成28年3月現在

自主防災組織が男女共同参画型の組織作りを行った事例です(行政主導ではない)。取組の概要とポイントを説明します。

【概要】日頃から子育てや介護に関わっている女性が自主防災組織に参画することで、生活者の視点で子供から高齢者まで幅広い世代に配慮した活動が期待されることから、子育てや介護等で忙しい女性も含めて、住民が活動に無理なく参加できる仕組みを構築しています。

【ポイント】

- ✓ 役員に女性枠を設けるとともに、役員の数自体を増やすことにより、女性が役員になりやすい仕組みになっています。
- ✓ 班長、副班長は名簿順に役員になることとしており、男女問わずだれもが平等に役員になる仕組みを作っています。
- ✓ 役員体制は規約に明記することにより、組織全体の明確なルールとして位置づけることが重要です。
- ✓ 会議開催に当たっては、会議の時間を短時間に限定し、参加しやすい時間帯に開催することとしています。会議の時間を短時間にするためには、運営や資料作成をしっかりと行う必要があります。事務局の役割が極めて重要になりますが、適任者の選定や、周囲のサポート体制をしっかりと検討する必要があります。
- ✓ 防災訓練に当たっては、発災時にはどんなメンバーで活動することになるかわからないことから、誰でもできることを意識し、炊き出し班=女性といった男女別の役割分担を廃し、事務局が適当に役割を割り当てることとしています。

【取組のポイント】

女性が参加し、リーダーとなるための工夫

- ・隣近所で、「お助け5人組」を構成。**5人の中からリーダーを必ず指名。**
⇒約20名のリーダーが誕生。
リーダーの中からリーダー長を選び、リーダーに女性が入り、男女同数のリーダーとなることを目指している。
- ・防災教育として防災劇等を日常から実施することにより、男女共同参画の視点からの取組が組織内に浸透。



川向防災会による防災劇

取組の結果

市の自主防災組織連絡協議会においても女性の参画が加速化。
(45の自主防災組織が参加。事務局は市危機管理担当課)

- ・副会長に女性が選出。
- ・女性部会を設置：将来的に役員となる人材を育成するための勉強会を実施。

平成26年4月高知県自主防災組織活動事例集
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/jisyubo-jirei.html>

安芸市危機管理課
0887-37-9101

(つづき)

【ポイント】

- ✓ 役員となるような女性リーダーは急に出てくるものではないため、隣近所で小さな5人組のグループを作り、リーダーを指名しています。
- ✓ 日頃から防災教育として防災劇など、男女共同参画の視点を組織内に浸透させるための取組を実施しています。

【組織外への効果の波及】

- ✓ 取組の結果、市内45の自主防災組織が参加する連絡協議会において、男女共同参画の視点が浸透しました。
- ✓ 具体的には、副会長に女性が選出されたり、女性部会を設置し、将来的に役員につくような人材を育てるための取組が行われています。